

総務委員会

星野光男委員長

■令和元年11月11日(月)～12日(火)

総務委員会では、池田市の『窓口業務の民間委託』と小野市の『行政経営』を視察しました。

大阪府池田市では、窓口業務を民間委託した効果として、職員数の削減、提出書類の統一化による待ち時間の短縮、オーダーシートの導入による事務の合理化などの報告を受けました。情報漏洩対策、関係者のマネジメント、今後の課題など確認や意見交換を行いました。

兵庫県小野市では行政経営の考え方について報告を受けました。「より高度」「より高品質なサービス」をいかに低コストで提供するかが課題、とのこと。ゼロベースの発想を常に意識し、「市役所とは、市民の役に立つ所である」と指導をしており、これまでの行政視察の受け入れ件数は、1,000件を超えているとのことでした。



大阪府池田市にて

民生委員会

山戸重治委員長

■令和元年11月14日(木)～15日(金)

民生委員会では、埼玉県所沢市の「こども支援センター」と同県朝霞市の「家庭ごみの訪問収集事業」について視察しました。

所沢市の「こども支援センター」には、子育て支援と発達支援の2つのエリアがあり、子育て支援エリアには、大小4つの交流広場と授乳室やランチルームがあります。保育士など13名の職員が4歳未満児と保護者を対象に子育て全般の業務を担い、充実した設備と職員で1日平均150組の親子が利用していました。

朝霞市では、「家庭ごみ」を自ら収集場所に出すことが困難な高齢世帯などを対象に、週1回の割合で自宅等に出向いて収集する「家庭ごみの訪問収集事業」を実施しています。希望があれば訪問先での安否確認も行っており好評であるとのことでした。

埼玉県所沢市
「こどもと福祉の未来館」にて

文教委員会

柿本和彦委員長

■令和元年10月23日(水)～24日(木)

文教委員会では、東京都杉並区の「部活動指導の外部委託」と荒川区の「キャリア教育プログラム」を視察しました。

杉並区では、中学校運動部において、顧問を3分類し、指導が得意な教員には特段な支援を行わず、指導経験が無い教員には専門コーチを委託し、その中間的な教員には地域ボランティアを依頼し、支援していました。教員負担を減らしたり、モチベーション低下を防いだり、生徒や保護者にも好評ということでした。

荒川区では、区立第三中学校を訪問し、キャリア教育の本質やプログラム内容について確認しましたが、体験活動を中心としたキャリア教育と各教科領域で進めるキャリア教育をリンクして実践することが重要である、ということでした。



東京都荒川区立第三中学校にて

産業建設委員会

二宮 仁委員長

■令和元年10月17日(木)～18日(金)

産業建設委員会では、和歌山県白浜町の「^{アイティー}IT企業誘致施策」、同県湯浅町の「^{セイ}日本遺産とSAVER JAPANの取り組み」について視察しました。

白浜町では、企業が撤退して残された保養所などの建物も多く、町がそうした建物をリニューアルして企業オフィスとしてIT企業に貸し出す誘致施策が進んでいます。2棟が埋まり、3棟目を計画中です。町の取り組みをお聞きし現場で入居企業の方から実情を伺いました。

湯浅町では、町並みの日本遺産とともに地元の食をまちづくりに活かすSAVER JAPANに取り組んでいます。醤油発祥の地として醸造企業と提携、工場見学など観光資源化を進めています。町の取り組みをお聞きし、工場で社長さんから実情を伺いました。尾道市の施策に活かして参ります。



和歌山県湯浅町にて